



日本赤十字社

赤十字おきなわ

第64号
2021.07



- ・ 令和2年度歳入歳出決算報告
- ・ 日本赤十字社沖縄県支部の活動

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

令和2年度(下半期) 日本赤十字社沖縄県支部の活動



沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部での活動

沖縄県庁 (沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部)

沖縄県では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、対応にあたっています。

派遣した赤十字職員は、沖縄県庁職員、各医療機関、厚労省、自衛隊、海上保安庁、DMAT、DPATなどと共に業務にあたり、感染者の入院調整業務、健康観察業務や医療コーディネーターの補助業務などを実施しています。

《主な業務内容》

陽性者の
入院・転院調整

自宅療養者の
健康観察業務

クラスター
発生施設の支援

コーディネーターの
補助作業等

《沖縄県コロナ本部への職員派遣数》

単位：人

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣数(延べ)	36	19	1	11	93	12	14	5	0	19	29	0	239



支援要請

職員派遣

大城 沖縄県保健医療部長 来所

令和3年3月25日に沖縄県より大城保健医療部長が、沖縄県支部に来所されました。沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部の活動に携わっている沖縄県支部、沖縄赤十字病院の職員に対して、謝意のお言葉をいただきました。

赤十字からは、島田事務局長、赤嶺副院長、佐々木救急部長が出席し、今後の新型コロナウイルス感染症対策についても沖縄県と協力して取り組んでいきたいとの意を表明しました。



日本赤十字社沖縄県支部

日本赤十字社沖縄県支部では、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部からの要請を受け、支援要員を同本部に派遣、沖縄赤十字病院からも医療コーディネーターとして医師を派遣、安謝福祉複合施設からは福祉支援要員(DWAT)を派遣し、支援活動を続けています。

また、同本部の要請を受け、クラスター発生施設や離島へも職員を派遣し、感染拡大防止活動を行っています。



クラスター発生施設 (本島中部)

クラスターが発生した医療施設へ、職員を派遣(令和3年2月5日~2月26日の間)。

医療施設のコロナ対策本部に入り、体制構築、陽性患者への対応、県対策本部や保健所との調整業務などを支援しました。



宮古島市

感染拡大が続き、医療体制がひっ迫していた宮古島市へ職員を派遣(令和3年1月20日~1月30日)。

宮古保健所、クラスター発生施設等にて、感染対策の体制構築や沖縄県、保健所等との調整業務などを支援しました。



石垣市

感染拡大が続き、医療体制がひっ迫していた石垣市へ職員を派遣(令和2年10月31日~11月5日)。

八重山病院(八重山新型コロナウイルス感染症対策本部)にて対応にあたり、感染対策の体制構築や沖縄県、保健所等との調整業務などを支援しました。

NHK海外たすけあい募金

12月19日に令和2年度NHK海外助け合い街頭募金活動を県庁前県民広場等にて実施しました。赤十字有功会役員及び会員、青少年赤十字メンバーなどが参加して募金への協力を呼びかけました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、声を出しての協力お願いを止め、事前に収録した寄付のお願いの音声データをスピーカーから流す方法がとられました。



世界の青少年赤十字とオンライン交流

11月15日に令和2年度青少年赤十字国際交流事業が開催されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、WEB会議形態での開催となり、18の国と地域からの学生約300名が参加しました。

沖縄県青少年赤十字高校協議会からも8名のメンバーが参加し、自己紹介や文化の紹介、赤十字クイズなどを通して他国の青少年赤十字メンバーと交流しました。



新規採用職員研修

県内の赤十字施設4施設を対象とした新規採用職員研修を開催しました。令和3年度新規採用予定の研修医、看護師、医療技術職、事務職等様々な職種の職員が参加し、赤十字の歴史、組織、各種事業、社会人として必要な接遇マナーについて学びました。

また、感染症の感染防止対策のため、研修会を2班に分け少人数での開催、参加者間の距離の確保やアクリルパネルを設置する等の対策を講じたうえでの研修を実施しました。



オンライン講習会

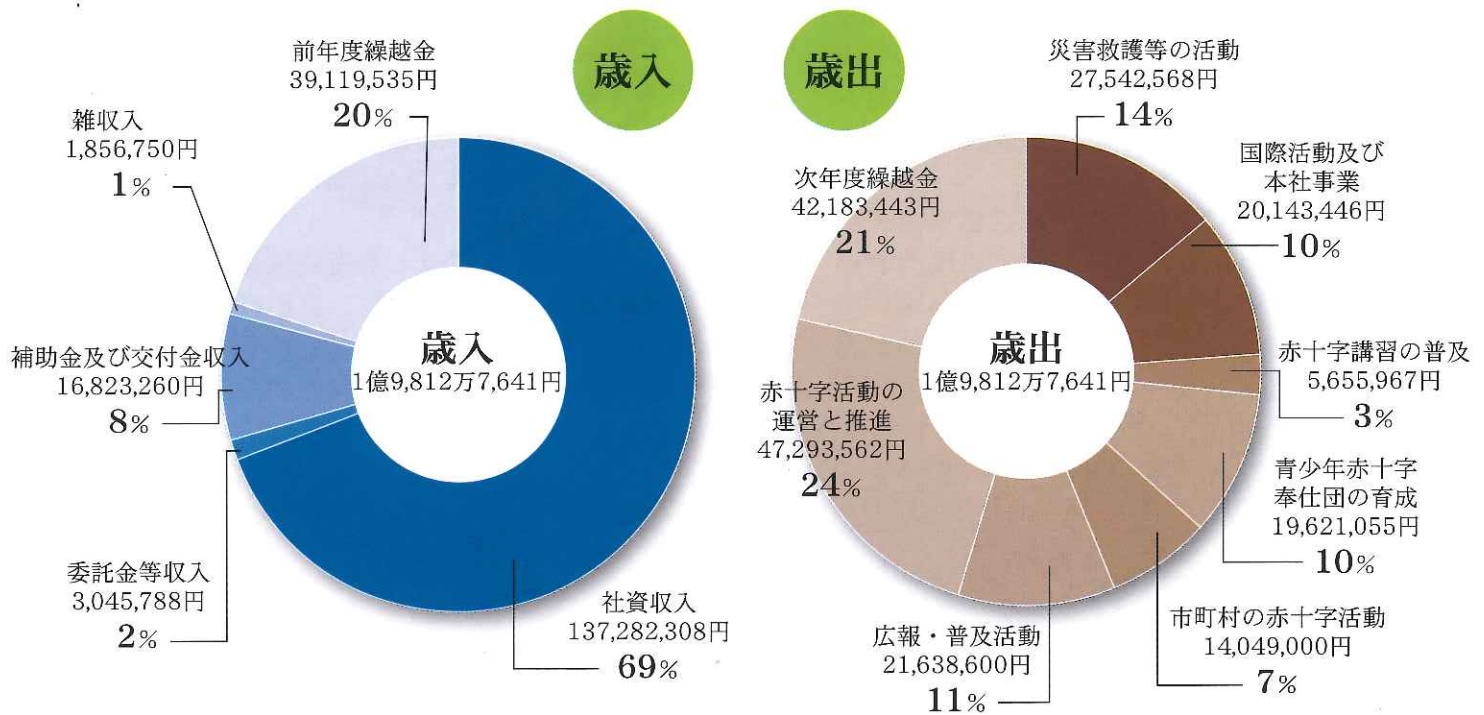
新型コロナウイルス感染症の影響により、日本赤十字社沖縄県支部では、ほとんどの赤十字救急法講習会の実施を見合わせている状況にあり、毎年講習を実施している各関係機関の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

そのような状況を受け、当県支部ではオンラインでの講習実施の環境・設備等を整えました。是非ご参加ください。

日程・内容については、ホームページや電話等にてお問い合わせください。



令和2年度日本赤十字社沖縄県支部決算報告



令和2年度歳入歳出決算につきましては、令和3年6月の「第89回評議員会」で文書審議され、承認されました。

令和2年度義援金・救援金受付状況

受付名	金額
・東日本大震災義援金	2,558,763円
・平成28年熊本地震義援金	150,719円
・令和元年台風第19号災害義援金	5,466円
・令和2年7月豪雨災害義援金	9,075,431円

受付名	金額
・令和3年2月福島県沖地震災害義援金	18,000円
・無指定海外救援金	100,000円
・令和2年度 NHK海外たすけあい	976,880円

※受付金額については、当県支部口座扱いのみの金額になります。

県民の皆さまからの温かいご支援により、令和2元年度も赤十字活動を展開することができました。心より感謝いたします。



赤十字の活動資金にご協力をお願いします

赤十字は、災害時の救護をはじめ、講習普及事業、ボランティアの育成、国際活動、医療、献血事業など、人々の健康で安全な暮らしを守るため、幅広い活動を行っています。

これらの活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

あなたのご支援で出来ること



2,000円のご寄付で

感染症防護具

感染症まん延状況下で救護活動を実施する際に必要な防護具（マスク、フェイスシールド等）約2人分を備えることができます。



3,000円のご寄付で

安眠セット

避難所で少しでも快適に過ごしていただけるよう、キャンピングマット、枕、アイマスクなどが収納された「安眠セット」を1人分備えることができます。



5,000円のご寄付で

緊急セット

避難先での生活にあると便利なマスク、ウエットティッシュ、ラジオ、懐中電灯、歯ブラシなどが収納された「緊急セット」を4人分備えることができます。



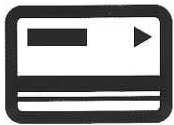
10,000円のご寄付で

小児用シロップ薬

日本では簡単に完治するような風邪の症状で、多くの子供がいのちを落としている国や地域に「小児用シロップ薬」500人分を届けて尊い命を救えます。

活動資金へのご協力方法

クレジットカード



Webサイトからの登録により、クレジットカードでご寄付いただけます。ご寄付の方法は、毎年・毎月・今回のみの3種類から選びいただけます。

銀行振込



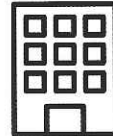
郵便局（ゆうちょ銀行）や銀行などでご寄付専用口座を開設しております。また、手数料が免除となる専用の振込用紙がありますので、沖縄県支部までご連絡ください。

口座引落し



指定の預金口座から自動引落でご協力いただけます。※専用の振込用紙の記載が必要となりますので、沖縄県支部までご連絡ください。

お近くの窓口



日本赤十字社沖縄県支部やお住まいの市町村役場の赤十字担当窓口で受け付けています。また、コンビニエンスストアにある情報端末でもご寄付いただけます。

遺贈によるご寄付



自身や故人の財産の全部または一部を日本赤十字社へご寄付いただけます。沖縄県支部までご相談ください。

表彰制度

日本赤十字社の活動資金にご協力いただいた場合は、その金額に応じて表彰制度を設けています。

銀色有功章	20万円以上に達した方
金色有功章	50万円以上に達した方
日本赤十字社社長感謝状	金色有功章受章後、50万円以上に達した方

※そのほか、国の表彰もあります。



税制上の優遇措置

日本赤十字社にご寄付いただいた活動資金は、個人の所得税や企業などの法人税での優遇措置が受けられます。また、ご遺族が相続された財産を日本赤十字社に寄付することによって、相続税での優遇措置が受けられます。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

沖縄県支部

那覇市与儀1-3-1 ☎(098) 835-1177

日本赤十字社沖縄県支部

検索

ホームページをリニューアルしました



沖縄赤十字病院

那覇市与儀1-3-1 ☎(098) 853-3134

沖縄県赤十字血液センター

那覇市与儀1-4-1 ☎(098) 833-4747

日赤安謝福祉複合施設

那覇市安謝2-15-2 ☎(098) 862-4321